

特定非営利活動法人 広島県手話通訳問題研究会

【活動テーマ】

手話通訳の 基本を学ぶ研修会

【設立目的】

手話学習者及び手話通訳者が研鑽を重ねることで、手話通訳による聴覚障害者の情報保障の確立及び福祉の向上を目指し、また手話を広めることにより障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすい社会の実現を図る。

平和と手話通訳を考える集い

ビルがお墓に見える

～被爆体験と旧陸軍被服支廠～

日時：7月30日（土）13時30分～15時30分
場所：広島平和記念資料館 東館地下1階会議室（1）
講師：被爆体験証言者



参加者：51名

参加者は、被爆証言を聞き、二度と悲劇を繰り返さないこと、核兵器廃絶に向け声をあげること、この悲劇を後世に語り継ぐことの大切さを改めて考えさせられました。「油断するといつの間にか平和は逃げる」という言葉をしっかりと心に刻み、今後も被爆体験を手話で語り継ぐ活動を続けていきたいです。



手話通訳者

講師は15歳で被爆し、終戦後、脱毛や紫斑、高熱などに悩まされたが、両親の看病により元気を取り戻す。証言が平和を守ることにつながり、被爆した下級生の供養になるという思いから93歳の今でも被爆体験証言者として活動を続けている。

被爆体験証言者

原爆の紙芝居 手話語り

日時：8月27日（土）10時30分～12時
場所：東区地域福祉センターボランティア研修室

幼い頃に被爆し、家族も名前も失い、深い悲しみとともに大変な状況で生きてきたろう被爆者の生涯を、広島市立基町高等学校の生徒たちが紙芝居に描きました。その紙芝居に手話をつけ、披露しました。



手話語り

ろう被爆者のドキュメンタリー鑑賞をし、手話通訳士が紙芝居に寄せた熱い思いを語りました。紙芝居と手話を通して、ろう被爆者に思いをはせ、平和の大切さをかみしめました。たくさんの人にこの紙芝居と、紙芝居に込められた思いを届けていきたいです。

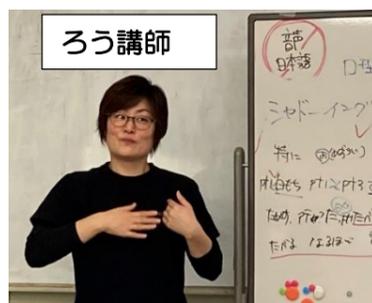


参加者：30名

「伝わる手話」講座

日時：11月3日（木・祝）10時～15時
場所：福山市市民参画センター4階2会議室
講師：ろう講師

ろう講師より、手話の文法の詳しい解説があり、ろう者に伝わる手話のポイントについて具体的な例をあげながら丁寧な指導がありました。研修中は音声で話すことは禁止され、全て手話で進められました。ろう講師のいきいきとした手話・表情・適切な手話の文法に魅了された研修会でした。



ろう講師



参加者：13名

参加者は、ろう者が見て疲れのない「伝わる手話」を繰り返し練習することにより、自分の手話の癖に気付き修正していきました。今回学んだ手話の正しい文法を意識し、さらに「伝わる手話」の向上を目指していきます。

今後の予定

- 理学療法士に学ぶ研修会
日時：12月10日（土）13時～16時30分
場所：東区地域福祉センター
講師：理学療法士
- 読み取り通訳研修会
日時：令和5年1月14日（土）～15日（日）
場所：東区地域福祉センター
講師：手話通訳士
- ラジオ体操指導と読み取り学習
日時：令和5年2月11日（土祝）13時30分～15時30分
場所：
講師：ラジオ体操指導士
※読み取り学習は動画を使用
- 手話通訳の基本を学ぶ研修会
日時：令和5年3月4日（土）13時～16時
場所：東区地域福祉センター
講師：手話通訳士



今後も、参加してよかったと思ってもらえる研修会を考えていきたい。また、手話に興味をもった人に、手話学習を始めるきっかけとなるような活動をしていきたい。